

With

障害者防災ネットワークまつ 第一回勉強会

去る2月21日熊本市議会議会棟3F特別応接室にて障害者防災ネットワークまつ第一回勉強会が開かれました。

勉強会の目的は、島原普賢岳の噴火から10年、淡路・阪神大震災から5年が経過しました新しいところで、昨年夏に噴火した北海道有珠山、さらには三宅島の噴火と、きわめて火山列島日本の中で毎日生活している事を痛感させられ、これらの大規模な災害時には長期の避難所生活が健常者はもとより、障害者や高齢者にとって、苦痛の生活の様子が現地からのリポート報道されてきましたが、地域の中で自立生活を実践している重度の障害者や高齢者だけの世帯や障害児が居る世帯など、地域には様々な条件を抱えて暮らしている人たちが大勢おられます。そうした様々な条件を抱えた人たちにとって、大規模災害の時に課題もさることながら、日常的にも火災の火元の可能性やまた近所での火災時の避難については、だれがどうやって救出するのか、などだれもが大きな不安を抱えての生活です。数年前、熊本市消防局長が今後の消防行政の課題について、すかさず「福祉」と言明した事があります。すなわち、日常的な問題に対しては、あらゆる想定をしながら技術を高める訓練をしているか、今後益々進行する高齢化社会を考えるとその対応は不十分であるという趣旨でした。

私たちは、自立生活するうえで、制度もハードもソフトも含め地域に足りないものを指摘し、要望してきました。反面、被災時の避難、救出については危機管理意識の面で不十分だったように感じ。そこで賛同される団体・グループにおける危機管理について、情報を提供し、消防との日常的な連携をはかり、信頼関係を構築してより安心できる地域社会を構築してより安心できる地域生活をつくっていくための検討、協議をする場、意見、情報交換するネットワークが必要だとの事で、「障害者団体」や「親の会」及び「熊本市消防局」の方が集まり、お互いの紹介と情報交換を行い、ネットワークの役割について話し合いました。最終的には各地域への関わりに繋げて行く事を確認しました。すでに「熊本アレルギーの子を持つ親の会」では緊急時に備えた救急救命法の講習会を消防と連携して行なわれています。今後、団体やグループにおける幅広いネットワーク構築のため、勉強会を定例化していく事が決まりました。

大勢の参加でうれしい悲鳴

春竹小学校「造形フェスタ」

2月10日、春竹小学校の「造形フェスタ」で、紙すき体験コーナーを担当することになって行きました。午後2時からということでしたが、準備があるので、早めに行くと、廊下に大勢の保護者の方がいるのが見えました。授業参観があっていたのです。それに続けての「造形フェスタ」開始ということで、例年以上にたくさんの参加がありました。紙すきコーナーにも、子どもたちが列を作り、大忙しになりました。模様にするのに用意した、キャラクターものの折り紙や、ゲーム雑誌の切り抜きを熱心に選んで、はがき作りにのぞんでいました。聞き分けがよくて、かわいい生徒たちでした。

3時半頃になると、人も少なくなったので、作品を見て回りました。スポーツの様子を表現した粘土細工や未来の街を表現したオブジェなど、なかなか見応えがありました。中学生や、就学前の子どもの絵もありました。中学生の作品は技術的にもなかなかのものでした。

参加が多かったおかげで、販売の方も成果が上がりました。

先生方、ご参加の皆さん、本当にありがとうございました。

月出小紙すき交流に行って

市瀬 恵

2月17日に午前の10時30分から11時30分まで月出小の家庭科室で2年生親子さん達の紙すき交流会がありました。

労働センターは、4名が参加して生徒さんや先生が来るまで、紙すき道具やパルプをおけに入れて水でとかしたら、サラシをグループごとに置いたりして、準備をしていたら、時間通り先生と生徒達来られたので、私達は黒板の前に並んで、最初に労働センターはどんな所で働いているかの説明やどんな商品を使っているのかの説明をして、一人ずつ自己紹介をしてハガキ作りに入りました。人数が多かったので、1班から6班に別れたので、私は6班に入ってハガキ作りを教えました。

私は2年生の生徒達に先生に、その後どうすればいいのですか？と言う人もあと1枚作っていいのですか？という人もいました。私は生徒達から「先生」と言われたので、とってもうれしかったです。

私達はまた別々に労働センターの車で、労働センターまで帰った後に労働センターの商品を月出小学校で販売させてもらいました。ありがとうございました。とっても楽しかった紙すき交流会でした。

「障害者」労働センターに行って

人吉市立大塚小学校

木村恵子

私は、今人吉市の大塚小学校（全校児童4人）で障害児学級を担任しています。担任している児童は1人ですが、ひとりがゆえにごまかしがききません。教育活動でのいちばんの悩みは、児童が将来自立した生活をするためにはどういう指導を組み込んでいくべきかです。

労働センターの研修を申し込んだのは、学校を卒業した子ども達がどのようにして職業に携わっているのかを、自分の目や心で確かめたかったからです。労働センターに行くと、一甲先生のお話を聞き、そこで働いている皆さんと一緒に話や仕事をしているうちに、私の肩の力がすうっと抜けていきました。

それは、一甲先生の「何も無理して教え込むことはない。できることをしていけばいいんだよ。みてごらん、ここでは一人一人が自分のできることを受け持って仕事をしている。」という言葉からでした。そう聞いて、周りを見るとみんな生き生きと自分の持ち場の仕事をしています。パソコン、紙漉き、牛乳パックのシールはぎ、渉外・・・。

なるほどと思いました。児童のできることを支援し、その能力を伸ばしていくことが将来安心して生活することにつながることを確信したからです。

この「できることを伸ばせばよい」という言葉は、私の心に余裕をもたらしました。労働センターでの研修は、楽しいひとときと「教育への心の余裕」という最高のみやげを児童？と私に与えてくれました。

ボランティア募集

JAS（日本エアーシステム）からの注文を受けて、ただいま労働センターでは、押し花のしおりを作製しています。現在の作業は、花を採取してきて押し花を作っているのですが、メンバー・スタッフだけでは、作業するのに手がたりません。ボランティアで数人の方には、来ていただき一緒に作業しているのですが、作業工程で少々遅れています。

読者のみなさんに、お願いします。私達と一緒に押し花の作業をしてみませんか。できるだけ多くの人の協力をお願いします。

人権フェスタに行って

高村恭弘

2月17日に産文会館で熊本市人権フェスタがありました。牛乳パックを再利用したハガキや一筆せんや封筒やノート、無農薬お茶やコーヒー、石けん等を持って行って売らせてもらいました。

ステージの上では、太鼓や劇や意見発表等がありました。ロビーにあるテレビで出し物を見てました。

大久保君の出番が来て、倉田さんだけ聞きに行きました。私も聞きたかったのですが、あきらめました。ちょっぴりうらやましかったです。

「イッカク」という先生のバンドのミニライブが最後にあると思いましたが、ないと分かったと残念でした。

西原村のぎくまつりに参加

吉村春美

2月20日、西原村のぎく荘にてのぎくまつりがあり、労働センターも紙すきと販売で参加しました。今年も西原中学校の1・2年生がボランティアでセッティングから片づけまで手伝ってくれて、助かりました。

最初は「教えきらん」とか言ってたけど、一番楽しそうに紙すきをしていたのは中学生でした。そして、相変わらずハガキを作ったのは子供がほとんどでした。

今年は、天気も良かったので、リサイクルバザーと食べ物バザーはとてにぎわっていました。

販売は、大人の人が少ないのでイマイチでしたが予想より売れて良かったです。ボランティアの学生と話したかったけど、紙すきに夢中でできませんでした。

ちよつと一息コーヒータイム

久島雅樹

障害は個性3

自分で出来る事、出来ない事をハッキリと区別して生きている者と、何でも自分一人でやろうとする者、この二つの大きなちがいがハッキリと見えているのです。私もサークルの副実行委員にならなかつたら、自分一人で何でもかかえこんでいた事だと思いました。

人間は一人では生きられません。人と人が支えあって、社会生活が成り立っているのです。障害者が社会生活をおくる中で、もっとも、重視されるのが一日の介護です。

一人一人障害の軽度がちがうので、介護する方も大変だと思いますが、介護する方、介護を受ける方の一線をこえたなら、スムーズな生き方が出来ると思います。

今、私が熊本で一人暮らしをしています、ここまで来るのに、大変だったです。

障害の事を思うと、なかなか他人に介護をたのむという事は、勇気が必要でした。そして、口に出す事も大変でしたが、発想を180度転回して、「障害は自分の個性なんだ」と考えた事により、今まで重く感じていた事が、軽くなり、市のヘルパー、民間の介護団体に声をかけて、生活介護をたのむことが出来ました。そして、現在の職場に通う途中で道路で園児、小学生、近所の人たちと身近に話せる事が出来るようになりました。とにかく、私が言いたいのは、自分の障害を苦にしないで、「障害は個性」と考えた方が気持ち的に楽になると思います。

労働センターで働く事も地域で生きる障害者の活力源だと思います。

これから先も、私は身体的障害ともう一つの病的障害の二つのハンディーを背負って生きなければなりませんが、障害を障害と思わず上手に付き合っていかなければ、自分自身がダメになると思います。そういう事を考えた場合「障害は自分の個性」と発想の転換が出来た時に、本当に精神的に楽になると思います。おわり。

2月の日報より

- 3日 絵手紙教室(第3期-2回)
 4日 人権フェスタ販売(八代)
 ボランティアセミナー(国際交流会館)
 6日 きずな実践交流会販売(城南町)
 7日 一の宮レポート研販売
 8日 信愛女学院販売
 10日 春竹小学校造形フェスタ紙すき体験コーナー
 14日 解放同盟熊本支部販売
 人吉大塚小教職員研修
 17日 熊本市人権フェスタ販売
 絵手紙教室(第3期-3回)
 月出小学校紙すき交流会
 18日 母と女性教師の会販売(城南町)
 19日 大津小学校ボランティア委員会紙すき交流会
 浜町小学校5年1・2組交流会
 21日 防災ネット勉強会
 24日 絵手紙教室(第3期-4回)
 教育まつり販売(教育会館)
 人吉人権フェスタ販売
 25日 のぎくまつり販売(西原村)
 26日 宇城同研販売(豊野村)
 27日 矢部中島中母記部紙すき研修会(おれんじ村)

2月牛乳パック回収

グリーンコープ共生社東支部	699.2kg
グリーンコープ共生社南支部	553.3kg
グリーンコープ共生社北支部	632.9kg
グリーンコープ共生社西支部	325.7kg
グリーンコープ鹿児島	880.0kg
グリーンコープ宮崎	300.0kg
物流センター	1701.0kg
くまもと生協	390.5kg
戸島団地郵便局	8.6kg
佐土原郵便局	17.5kg
平成郵便局	23.6kg
川尻郵便局	31.7kg
近見郵便局	3.5kg
本山郵便局	19.6kg
二本木郵便局	8.3kg
東海学園前郵便局	1.6kg
南熊本郵便局	1.0kg

予定(3/16~4/15)

3月

- 17日 絵手紙教室(第3期第6回)
 18日 上々颯風コンサート(水俣)
 24日 絵手紙教室(第3期第7回)
 31日 絵手紙教室(第3期第8回)

春日南郵便局	0.5kg
西子飼郵便局	1.8kg
山室郵便局	3.1kg
小島郵便局	24.3kg
川口郵便局	4.4kg
銭塘郵便局	8.6kg
南千反畑郵便局	1.5kg
武蔵ヶ丘団地郵便局	42.0kg
横手郵便局	11.6kg
田迎郵便局	25.6kg
鉄砲塚郵便局	16.7kg
野越郵便局	4.0kg
萩原郵便局	7.2kg
長嶺郵便局	15.0kg
江津郵便局	7.0kg
熊本東郵便局	13.0kg
熊本中央郵便局	9.2kg
京町郵便局	6.2kg
京町台郵便局	12.4kg
上熊本郵便局	5.4kg
熊本上通郵便局	11.6kg
貯金事務センター郵便局	3.7kg
大江6丁目郵便局	10.0kg
北水前寺郵便局	18.3kg
水前寺公園郵便局	3.7kg
水前寺駅前郵便局	3.9kg
竜田郵便局	0.6kg
城東郵便局	17.3kg

米屋町郵便局	1. 0 k g	熊大生協	12. 0 k g
秋津郵便局	59. 7 k g	個人2人分	27. 8 k g
昭和町郵便局	2. 0 k g	全日食チェーン八王寺店	119. 4 k g
若葉四局郵便局	1. 0 k g	スーパーレットタニダ	100. 8 k g
麻生田郵便局	12. 8 k g	五福地域開発センター	8. 4 k g
新地郵便局	8. 7 k g	台信商店	96. 5 k g
北部郵便局	6. 2 k g	キッチン岡田	24. 3 k g
高平郵便局	44. 1 k g	有機の会	8. 6 k g
北帯山郵便局	27. 4 k g	中央公民館	1. 5 k g
新大江郵便局	1. 0 k g	熊本総合女性センター	5. 6 k g
黒髪6丁目郵便局	5. 3 k g	谷山商店	18. 0 k g
供合郵便局	9. 5 k g		
八王寺郵便局	2. 7 k g		
御幸郵便局	2. 2 k g		
西部市民センター	7. 3 k g		
秋津市民センター	13. 1 k g		
託麻市民センター	7. 9 k g		
南部市民センター	9. 9 k g	グリーンコープ共生社東支部	105. 3 k g
幸田市民センター	14. 1 k g	グリーンコープ共生社北支部	148. 8 k g
龍田市民センター	16. 6 k g	物流センター	163. 9 k g
東部市民センター	15. 4 k g	くまもと生協	285. 4 k g
花園市民センター	15. 3 k g	個人1人分	6. 8 k g
大江市民センター	22. 1 k g	秋津郵便局	15. 0 k g
春竹地域福祉コミュニティセンター	17. 7 k g	熊本学園大学	93. 4 k g
楠地域福祉コミュニティセンター	7. 5 k g	アートプロレス	49. 5 k g
向山地域福祉コミュニティセンター	19. 0 k g	熊本県福祉センター	142. 0 k g
飽田総合支所	35. 9 k g	熊本ゼミナール上熊本校	24. 3 k g
天明総合支所	16. 4 k g	熊本ゼミナール武蔵ヶ丘校	17. 7 k g
北部総合支所	20. 5 k g	ミヤデン	25. 8 k g
J A中島支店	8. 8 k g		
J A河内支店	22. 6 k g		
J A秋津支店	42. 5 k g		
南部保健センター	5. 1 k g		
北部保健センター	18. 3 k g		
熊本西保健所	5. 6 k g		
熊本保健所	1. 0 k g		
一新小学校	52. 0 k g		
泗水東小学校	13. 5 k g		
泗水小学校	9. 8 k g		
城北小学校	60. 5 k g		
城西小学校	39. 4 k g		

2月上質紙回収

グリーンコープ共生社東支部	105. 3 k g
グリーンコープ共生社北支部	148. 8 k g
物流センター	163. 9 k g
くまもと生協	285. 4 k g
個人1人分	6. 8 k g
秋津郵便局	15. 0 k g
熊本学園大学	93. 4 k g
アートプロレス	49. 5 k g
熊本県福祉センター	142. 0 k g
熊本ゼミナール上熊本校	24. 3 k g
熊本ゼミナール武蔵ヶ丘校	17. 7 k g
ミヤデン	25. 8 k g

編集後記

3月も中旬に入り、日を迫う毎に春の気配を感じる季節となりました。桜の花ももうすぐ咲き乱れると思います。荒廃した社会の中でも、植物たちは私達に春の訪れを教えてくれます。

withでは、皆さんの声を待っています。どんなことでも構いません。ご投稿を待っています。

編集長 久島稚樹